

[様式9-1]

福祉サービス等第三者評価結果

総合評価

受診施設名	京都市立弓削保育所	施設種別	保育所 (旧体系：)
評価機関名	一般社団法人 京都府保育協会		

令和元年12月27日

総 評	<p>京都市立弓削保育所は、京北町と京都市が合併し京都市立となり15年目を迎える保育所です。周辺を豊かな自然に囲まれ、園児が散歩に出かけたなら、皆が顔見知りで親しく挨拶し合える、昔ながらの地域との良い結びつきが残る環境に立地しています。</p> <p>「ここをそだてる」「いきるちからをそだてる」「子どもも大人もそだちあう」を弓削保育所の理念とし、「たくさんあそんで いっぱいたべて ぐっすりねむる」を保育目標に、地域との繋がりを大切にしながら、京北の子育て家庭を支援しています。</p> <p>京北地域ならではの保育に取り組み、豊かな自然環境や、落ち着いた施設環境、家庭的な雰囲気や保護者との密な関係を大切に、日々の子どもの過ごす環境が充実したものとなるよう取り組んでいます。それらの様子は写真掲示などのドキュメンテーションで園内に掲示し、可視化に努め、一緒になって育ちあえるよう配慮しています。それらの取り組みは、『ドキュメンテーションを通して「子どもと繋ぐ、保護者と繋ぐ、地域と繋ぐ」』及び『自分を大切だと思える心を育てる「心の土壌作り」』として京都市保育園連盟主催の論文の部門に提出したほか、『鹿の理由、僕らの理由』として小学館わたしの保育記録の部門に提出し、保育の情報発信に努めています。</p> <p>2020年4月からは地域の三つの小学校と一つの中学校が小中一貫校となって開校するなど、京北地域は少子化が進んでいます。そういった環境でも管理者を中心に地域に根差した子どもの育ちを支える保育所となるよう努めています。</p>
特に良かった点(※)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育所独自で保育士研修会として自主的な研究を計画し、職員が中心となって園庭改造計画やビオトープ取扱説明書を作成し、異動で来た職員でも弓削独自の取り組みが実践できるよう工夫しています。 ・ 近隣の小児科が週2回のみ開業であり、感染症などの発生状況や予防対策などは毎朝の職員ミーティングで情報共有し、有事の連絡・安全体制を確認しています。 ・ 園内は、京北の木材を多く利用した温かい雰囲気が漂う環境で、修繕や遊具・玩具なども職員の手作業で実施されている部分が多くあり、子どもたちが保育者のぬくもりを感じる空間で心地よく過ごしている事が伺えます。弓削保育所職員間では「オールマイティ」を合言葉にしており、皆が何にでも取り組み、連携・協力しながら保育に取り組めるよう努めています。
特に改善が望まれる点(※)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の充実については、職員数が少なく、また市内との距離もあり、不十分と感じています。 ・ 実習生の受け入れについて、実習プログラム等の整備が不十分などところがあります。 ・ 災害時の地域における役割等について確認されると良いでしょう。

※それぞれ内容を3点程度に絞って掲載しています。評価項目毎のコメントは「評価結果対比シート」の「自由記述欄」に記載しています。

京都府福祉サービス等第三者評価事業

[様式9-2]

【保育所版】 評価結果対比シート

(注)判断基準「a b c」について

【平成28年度以前の基準とは異なるため、当評価結果との対比はできませんのでご留意下さい】

(a)は質の向上を目指す際の目安となる状態、(b)は多くの施設・事業所の状態、(c)はb以上の取り組みとなることを期待する状態、に改定されました。改訂後の評価基準に基づいた評価では(b)が一般的な取り組み水準となり、従前に比べて(b)の対象範囲が広がります。また、改正前に(a)であった評価項目が改正後の再受診で(a)を得られなくなる可能性もあります。

受診施設名	京都市立弓削保育所
施設種別	保育所
評価機関名	京都府保育協会
訪問調査日	2019年12月27日

I 福祉サービスの基本方針と組織

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
I-1 理念・基本方針	I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。	1	① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	a	a
[自由記述欄]					
<p>・京都市子ども若者はぐくみ局が作成した「市営保育所運営方針」及び「京都市営保育所保育の計画」に基づき、弓削保育所独自の全体的な計画を策定しています。保育の理念、方針、目標は明文化されており、入園のしおり（重要事項説明書）やホームページ、園内に明示されています。特に、保育目標の掲示には、地元木材を使用して、温かい雰囲気や地域の特徴を示しています。</p>					

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
I-2 経営状況の把握	I-2-(1) 経営環境の変化等適切に対応している。	2	① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	a	a
		3	② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	a	a
[自由記述欄]					
<p>・歴代の所長は京北出身者でしたが、現所長は京都市内の保育所出身であり、これまで培ってきた地域に根差した運営と、市営保育所としての資源の活用と、両面の良いところを弓削保育所に還元できるよう取り組んでいます。京北の急激な人口減少や地元の小中学校の統合などの状況を踏まえ、年度末に実施する総括でそれらの現状を課題として取り上げ分析し、職員編成や保育内容など全体的な計画に反映するようにしています。</p>					

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
I-3 事業計画の策定	I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	4	① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	非該当	非該当
		5	② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	非該当	非該当
	I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。	6	① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	a	b
		7	② 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	a	b
[自由記述欄]					
<p>・中・長期的な計画並びに単年度計画は、市予算との関係から個別での策定は難しく非該当とします。</p> <p>・年間の保育の計画や行事等の計画は組織的に策定され、職員間で周知されています。中・長期計画の策定は難しいですが、今後は、地域の福祉ニーズや経営課題等を見通した保育所独自の事業計画を組織的に策定し、職員や保護者に周知できるとより良いでしょう。</p>					

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組	I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。	8	① 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	a	a
		9	② 評価結果にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	a	a
[自由記述欄]					
<p>・第三者評価を毎年、市営保育所間で順番に受診しており、市営保育所間でその評価結果を共有し改善に繋げています。その内容は、月1回開催する所長研究会などでも取り上げると共に、研修や資質向上に対する取り組みも実施し、日常的な保育の計画や記録に対する評価・反省の実施と合わせて保育の質向上に繋がるよう取り組んでいます。</p>					

II 組織の運営管理

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
II-1 管理者の責任とリーダーシップ	II-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。	10	① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	b	a
		11	② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a	a
	II-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。	12	① 保育の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	b	b
		13	② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	a	a

[自由記述欄]

- ・施設長の役割と責任は職務分掌に明示されており、施設長不在時の責任者も順に明示しています。自然災害発生時などにおける組織内連絡法も明示されています。重要事項説明書内でも表明しています。
- ・管理者は、職員会議の中で保育の振り返りや分析を行い、評価・反省に繋げています。また、毎朝の職員ミーティングでも日々の保育実践に必要な情報の共有に努めています。研修の充実については、職員数が少なく、また、京都市内中心部との距離もあり、不十分と感じています。管理者を中心に職員が希望の研修に参加できるよう協力体制構築に努めています。
- ・保育所独自で保育士研修会として自主的な研究を計画し、職員が中心となって園庭改造計画やピオトープ取扱説明書を作成し、異動で来た職員でも引削独自の取組が実践できるよう工夫しています。

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
II-2 福祉人材の確保・育成	II-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。	14	① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	a	a
		15	② 総合的な人事管理が行われている。	a	a
	II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。	16	① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	a	a

[自由記述欄]

- ・人事評価制度に基づき年2回実施する管理者による職員ヒアリングをもとに、経験年数や要望、生活面などを鑑みて体制や配置を行っています。また、京都市内から通う職員もおり、偏った日程で残業が多く発生しないよう職員間の協力のもと業務を進められる体制構築に努めています。

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
II-2 福祉人材の確保・育成	II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	17	① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	a	a
		18	② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	b	b
		19	③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	b	b
	II-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。	20	① 実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	b	b

[自由記述欄]

- ・新規採用職員や異動してきた職員を対象にOJTサポート体制を整備し、評価と実施内容の記録をもとに人材育成に取り組んでいます。
- ・京都市営保育所として研修内容は充実しており、それらに基づき研修計画を個別で策定しています。ただ、小規模保育所であり全体の職員数が少なく、保育現場とのバランスにより計画通りに受講できない事もあり、今後は、参加できるよう管理者や京都市営保育所として工夫されるとより良いでしょう。
- ・実習生の受入れについては、現在は希望者がなく、実習プログラム等の整備も不十分なところがあります。

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
Ⅱ-3 運営の透明性の確保	Ⅱ-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。	21	① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	a	a
		22	② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	b	b
[自由記述欄]					
<p>・運営の透明性確保のため財務的な内容である予算や決算、「市営保育所運営方針」などをホームページで公開しています。今後は、市全体の予算の関係上難しい部分ではありますが、外部監査の活用等による専門家の運営内容のチェックを実施できるとより良いでしょう。</p>					

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果		
				自己評価	第三者評価	
Ⅱ-4 地域との交流、地域貢献	Ⅱ-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。	23	① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	a	a	
		24	② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a	a	
	Ⅱ-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。	25	① 保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	a	a	
		Ⅱ-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。	26	① 保育所が有する機能を地域に還元している。	b	b
			27	② 地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。	a	a
[自由記述欄]						
<p>・京北にある市営保育所3ヶ園で、一年を通じて互いの施設に遊びに行ったり、合同で所外保育に出かけるなど交流があります。また、「京北ふるさと祭り」への年長児の参加や地域の高齢者施設との交流、地域の未就園児親子を対象とした毎日の園庭開放や、絵本コーナーの開放、赤ちゃんひろば、離乳食試食会なども実施しています。</p> <p>・京北行政推進会議や「京北福祉あんしんネットワーク」、要保護対策推進会議に参加し、地域との結びつきを大切にしています。また、保育所で大正琴の披露や音楽コンサート等も開催し、地域の方の交流や活動に施設を提供しています。今後は、災害時の地域における役割等について確認されると良いでしょう。</p> <p>・近隣高校の森林リサーチ科の学生製作による木材遊具や家具が至るところにあり、園の要望の木製遊具を製作してくれたり、園児と一緒に造形活動に取り組むなどの交流があります。</p> <p>・近隣の中高生が保育所体験でボランティア活動として園児と交流したり、元職員が毎日のようにボランティアとして保育補助に来てくれています。</p>						

Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス	Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。	28	① 子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。	a	a
		29	② 子どものプライバシー保護等の権利擁護に配慮した保育が行われている。	a	a
	Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意(自己決定)が適切に行われている。	30	① 利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	a	a
		31	② 保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。	a	a
		32	③ 保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	a	a

[自由記述欄]

・年度初めの職員会議において、全体的な計画だけでなく、市営保育所の保育理念について職員に配布し、子どもを尊重した保育について確認するよう努めています。

・未就園児を持つ保護者については地域の全員を把握しており、急な見学依頼にも可能な限り対応し、子育て支援事業などの案内も行い、何度も来てもらい保育内容を知ってもらえるよう努めています。

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス	Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。	33	① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	b	b
		34	② 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	a	a
		35	③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	a	a

[自由記述欄]

・苦情解決の仕組みが整備され、対応しています。また、要望や苦情を申し出た保護者等に配慮したうえで内容を公表しています。今後は、苦情記入カードやアンケートの配布(匿名)を実施するなど、意見の出やすい工夫をされるとより良いでしょう。

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス	Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。	36	① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a	a
		37	② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a	a
		38	③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	a	a
		39	④ 不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている。	b	a

[自由記述欄]

・ヒヤリハットを作成しており、事故予防に努めています。その内容は、市営保育所全体にも伝え共有し、大きな事故の未然防止に取り組んでいます。

・近隣の小児科が週2回のみ開業であり、感染症などの発生状況や予防対策などは、毎朝の職員ミーティングで情報共有し、有事の連絡・安全体制を確認しています。

・不審者侵入時の訓練は、警察と連携し実施しています。

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保	Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。	40	① 保育について標準的な実施方法が文書化され保育が提供されている。	a	a
		41	② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a	a
	Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。	42	① アセスメントにもとづく指導計画を適切に策定している。	a	a
		43	② 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	a	a
	Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。	44	① 子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	a	a
		45	② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	a	a

[自由記述欄]

・指導計画は年間、月間、週日案と全体的な計画に沿った内容で策定され、それらの評価・見直しは毎月の月案討議で実施すると共に、年2回、前期・後期に分けて総括会議を持ち、評価・反省を行って情報共有すると共に、それらの内容は記録され、次の計画に内容を反映させています。

A-1 保育内容

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
A-1 保育内容	A-1-(1) 全体的な計画の編成	46	① 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて全体的な計画を編成している。	a	a
		47	① 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	a	a
	A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開	48	② 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	a	a
		49	③ 子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。	a	a
		50	④ 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	a	a

[自由記述欄]

・全体的な計画が編成されており、組織的に見直しを図り、保育内容が一貫性・連続性のあるものとなるよう取り組んでいます。特に、車文化の為、子どもたちが運動不足になっている傾向があり、体づくりの充実が保育計画に盛り込まれています。

・園内は、京北の木材を多く利用した温かい雰囲気が漂う環境で、修繕や、遊具・玩具なども職員の手作業で実施されている部分が多くあり、子どもたちが保育者のぬくもりを感じる空間で心地よく過ごしている事が伺えます。弓削保育所職員間では「オールマイティ」を合言葉にしており、皆が何にでも取り組み、連携・協力しながら保育に取り組めるよう努めています。

・小規模保育所ならではの異年齢での関わりが日常的にあり、大人主体で子どもたちと関わることはせず、担当制はとりつつも、全ての職員がどの子どもに対しても同じように関わり合いながら、子どもが安心して過ごせる環境を提供し、子ども主体の保育を実践するよう取り組んでいます。

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
A-1 保育内容	A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開	51	⑤ 乳児保育（0歳児）において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	a
		52	⑥ 3歳未満児（1・2歳児）の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	a
		53	⑦ 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	a
		54	⑧ 障害のある子どもが安心して生活でき喜んで遊べる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	a
		55	⑨ 長時間にわたる保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	b	b
		56	⑩ 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	a	a

[自由記述欄]

・乳児は育児担当制を取り入れ、特定の大人との信頼関係を構築させ、安心して過ごせるよう配慮しています。0～2歳児は、食事・遊び・寝るの各スペースを整え、個々のペースに沿って関わられるよう配慮しています。また、市共通の「丁寧な育児行為」や「ストラテジーシート」を活用し、乳児との安定した関わりによって、より良い育ちに繋がるよう取り組んでいます。

・幼児は、異年齢で過ごし、一人一人の子どもに配慮した日課・導線作りを大切に丁寧にかかわるよう配慮しています。

・園庭は職員や保護者の協力のもと固定遊具を移動し、築山やピオトープ、砂場や畑を拡充し、園庭の至る所で0歳児から年長児までが関わり主体的に遊び込み、自然と子ども同士の交流が深まるよう整備しています。また、周辺の自然環境の中に遊びに出かけ、山間部ならではのダイナミックな四季の移ろいや自然物を使った造形活動などにも取り組んでいます。

・保育時間が18時までであり、おやつを提供していません。今後は、時間が短い中でも朝夕の長時間保育について、指導計画等で位置づけがなされるとより良いでしょう。

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
A-1 保育内容	A-1-(3) 健康管理	57	① 子どもの健康管理を適切に行っている。	a	a
		58	② 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。	a	a
		59	③ アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。	a	a
	A-1-(4) 食事	60	① 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	a	a
		61	② 子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている。	a	a
[自由記述欄]					
<p>・アレルギー疾患のある子どもについては、誤食防止の為、毎朝のミーティングチェックや配膳時のチェックなど、マニュアルに基づき何度も確認を実施しています。</p> <p>・地域の方の協力を得て、菜園活動は育苗からの米作り、さつまいも栽培、園内にある畑での栽培活動を行っており、周辺の自然で取れた山菜等も含め、「食べることは生きること」と子どもに伝え、給食で調理して食べています。そのほかにも、地元の美山牛乳を子どもたちに提供したり、郷土料理のほうばごはんをクッキングで作るなど、地元に関わった食育活動にも取り組んでいます。</p>					

A-2 子育て支援

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
A-2 子育て支援	A-2-(1) 家庭との緊密な連携	62	① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	b	b
	A-2-(2) 保護者の支援	63	① 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	a	a
		64	② 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	a	a
	A-3-(1) 保育実践の振り返り（保育士等の自己評価）	65	① 保育士等が主体的に保育実践の振り返り（自己評価）を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	a	a
[自由記述欄]					
<p>・日々の保護者対応の他に、0歳児は24時間表、1~2歳児は保護者との連絡ノート、3歳以上児はお帳面を通じて家庭との連絡連携を取っています。今後は、記録する内容について基準を定め職員が共通認識を持てる仕組みを整備されるとより良いでしょう。</p> <p>・必ず全保護者と毎日一声かけて話し合うよう心がけており、子どもの成長とともに喜びあえる関係づくりに努めています。</p> <p>・市営保育所所長研究会で作成した自己評価チェックシートを年2回実施し、評価結果を集計し、職員の傾向などを把握するようにし、保育の振り返りや職員指導に活かすようにしています。</p>					